

03
2025

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.21



2025.3.24 職場訪問例会 「エディオンピースウイング広島」

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2025年03月のまとめ

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hcrcl@godorc.gr.jp
URL：https://hcrcl.gr.jp/



2025/03/03

第2050回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話「命を守るチカラ 天気と防災」

卓話者

気象予報士・防災士 岸 真弓様

担当委員会

プログラム

祝事等

- ・会員誕生日（3名）宗正 七枝 三浦
- ・特別なお祝い（喜寿）吉川恵
- ・配偶者誕生日（3名）吉川修 城本 猪垣

会長時間

○ポール・ハリス・フェロー表彰(西川公一郎会員)

「ロータリークラブの女性会員の歴史」

皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、誠にありがとうございます。

本日はゲスト卓話の講師として気象予報士・防災士の岸真弓様にお越しいただきました。

後ほど、卓話を宜しく申し上げます。

さて、先日2月20日に、黒瀬会員のお別れ会「感謝と祈りの会」が広島YMCA国際文化ホールにて執り行われました。私も参列させていただきましたが、300名以上の方々が故人を偲び、心温まる会となりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

前回の会長時間では、ロータリークラブ創立120周年についてお話しました。本日は、女性会員の歴史について触れたいと思います。

ロータリークラブは1905年の創設以来、長らく男性のみの組織でした。しかし、1970年代に入ると、性別による制限への批判が高まり、いくつかのクラブが独自に女性会員を受け入れ始めました。1977年、アメリカカリフォルニア州のデュアルテ・ロータリークラブが女性会員3名を迎え入れましたが、

国際ロータリーの規定に反するとして認証を取り消されました。

同クラブは「性別による制限は差別にあたる」として訴訟を起こし、1987年、米国最高裁判所は「女性の入会を拒否してはならない」との判決を下しました。これを受け、1989年5月に国際ロータリーは女性会員の受け入れを正式に承認しました。

ロータリークラブの120年の歴史の中で、女性会員が正式に認められて40年も経っていないということです。

以来、多くの女性がクラブのリーダーシップを担い、奉仕活動に貢献しています。2022-23年度にはジェニファー・ジョーンズ氏が初の女性国際ロータリー会長に就任し、多様性と包摂性の推進を図りました。当クラブにも6名の女性会員が在籍していただいております。今後もさらなる会員増強を図っていきたく考えております。

以上で会長時間とさせていただきます。ありがとうございます。

ゲスト卓話の風景



卓話者：気象予報士・防災士 岸 真弓 様

卓話内容はホームページに掲載しております



場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話

卓話者

カーブ解説者 植田 幸弘 様

担当委員会

プログラム

ゲスト

米山奨学生 李 道宇さん

祝事等

- ・連続出席表彰（8名）
小佐古 芥川 大坂 新宮 土谷 光村 沖本
山本
- ・結婚記念日（8名）
橋本 三宅 田中 砂田 吉清 迫田 山肩 田原

会長時間

ロータリーの特別月間「水と衛生月間」

皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、ありがとうございます。

本日はゲスト卓話の講師として、カーブ解説者 植田幸弘様にお越しいただきました。後ほど卓話をよろしくお願ひします。また、ゲストとして米山奨学会生 李道宇さんにお越しいただきました。例会をお楽しみください。

七枝会員は本日の例会が最後になります。後ほどご本人からご挨拶をいただきますが、当クラブ在籍中は主に国際奉仕や青少年奉仕の分野でご尽力いただきました。特にサンタローザ・サンライズRCとの連携では多大な貢献をいただき、心より感謝申し上げます。新天地でのさらなるご活躍をお祈りいたします。

さて、本年1月に発生した米国カリフォルニア州ロサンゼルス山の山火事の被災者支援として、当クラブはニコニコ会計から6,000ドルを国際奉仕活動の一環として拠出することを臨時理事会でご承認いただきました。この義援金は、提携クラブであるサンタローザ・サンライズRCを通じて、被災地域であるRI5300地区の基金に送金することとなり、手続きをいたしました。サンタローザ・サンライズRCの寄附金と合わせて、少しでも被災者の支援につながることを願っております。

また、3月は「水と衛生月間」です。2014年に国際ロータリーはこの月間を、安全な水の公平な提供や衛生設備の改善、持続可能な水・衛生環境の整備、地域住民の能力向上、そして水・衛生関連の専門職業人への奨学支援を促進

する期間と決めました。

ロータリーは、清潔な飲料水の供給やトイレ・手洗い設備の整備、衛生教育の推進を通じて、感染症予防や生活環境の向上に貢献しています。特に発展途上国では、安全な水へのアクセスが限られており、汚染された水を飲むことで多くの人々が病気に苦しんでいます。ロータリーの支援によって、井戸の設置や浄水設備の提供が行われ、持続可能な衛生環境の整備が進められています。当クラブでは、過去にケニアのモヨ・チルドレンセンターへ10t雨水タンク2基を贈呈し、現地で有効に活用されています。日本は水資源に恵まれています。世界では水資源を巡る争いの可能性も指摘されるほど、水と衛生に苦しむ国々が多く存在します。

私たちもこの月間を機に、水資源の大切さや衛生環境の改善について改めて考え、地域社会や国際社会に貢献できる活動を模索していきましょう。



奨学期間終了による米山奨学生挨拶
(李 道宇さん)

ゲスト卓話の風景



卓話者:カーブ解説者 植田 幸弘 様

2025/03/24

第2052回例会

場所

エディオンピースウイング広島

本日のプログラム

職場訪問例会「エディオンピースウイング広島」

担当委員会

職業奉仕

会長時間

「職場訪問例会」

皆様、こんにちは。本日は職場訪問例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

まず、2024-25年度のRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)についてご報告いたします。3月8日から9日の1泊2日で、岩国ロータリークラブのアレンジにより、深谷峡温泉「清流の郷 コテージせせら」で開催されました。当クラブからは、大坂青少年委員会副委員長が参加されました。今年度は「行動しよう、未来のために。～新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか!～」をテーマに掲げ、意義深いプログラムが行われました。詳細は青少年月間に別途ご報告の予定ですが、まずは大坂副委員長のご尽力に心より感謝申し上げます。

さて、本日の職場訪問例会の開催にあたり、尽力いただきました大田職業奉仕委員長、そしてご協力いただきました株式会社サンフレッチェ広島の相談役仙田信吾様並びにピースウイング広島の皆様に、心より御礼申し上げます。1月の会長時間でも触れましたが、職業奉仕の実践の一つとして、例会において自身の職業を語り、互いの職業を学び合うことは、ロータリー精神において非常に重要な活動です。当クラブでは、職業奉仕委員会と会員の皆様のご協力により、これまで継続的に職場訪問例会を実施してまいります。これは当クラブの特徴のひとつであり、今後もこの伝統が末永く続いていくことを願っております。それでは限られた時間ではありますが、これからのプログラムを皆様と共に楽しんでまいりましょう。



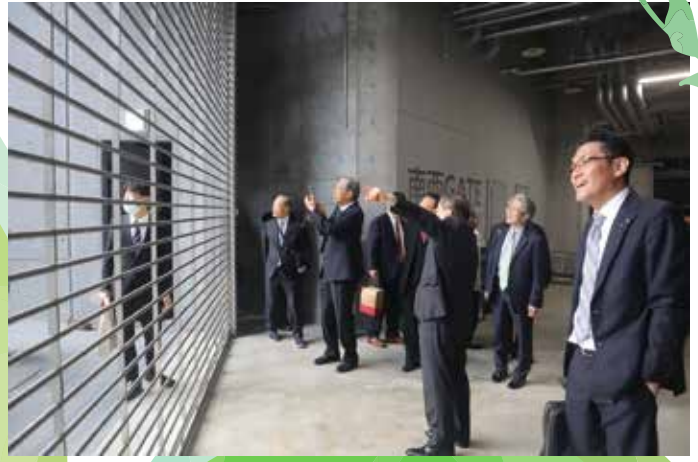
卓話者:サンフレッチェ広島 相談役 仙田 信吾 様



サンフレッチェ広島の志



サンフレッチェ広島
相談役 仙田信吾



2024-25年度 第1回クラブ研修セミナー 報告書 (ロータリー情報委員会)

日時 2025年3月31日(月) 18:30～
場所 アーバンビューグランドタワー2階敦煌
出席者 城本会長、下原副会長、宗正会長ノミニー、西井幹事、山野井会員、木内会員、榎殿会員、吉川恵会員、吉川修平会員、加藤会員、李米山奨学生、事務局 相澤さん、長場ロータリー情報委員長 (13名)



研修内容

- 1 会長挨拶
- 2 研修

R情報委員長から、資料「米山記念奨学会と海外米山学友会」に基づく説明を行った。

- (1) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 (1952年に設立した東京ロータリークラブの考え等)
- (2) 米山奨学会の歴史 (設立後の事業内容、各学友会設立、累計奨学生数等)
- (3) 広島中央ロータリークラブの米山奨学生 (21名の紹介)
- (4) 海外米山学友会 (ベトナム南、モンゴル、台湾、タイ、マレーシア、中国、スリランカ、韓国、ネパール、ミャンマー及び2026年に設立予定のインドネシアの説明)

- 3 会長ノミニー閉会挨拶

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

会員卓話

「LIGHT-UP IN GREEN
ライトアップinグリーン運動、緑内障について」

卓話者

木内 良明 会員

担当委員会

プログラム

ゲスト

入会予定ゲスト：上土井 幸治（うえどい こうじ）様

祝事等

- ・入会月会員（8名）
小佐古 芥川 大坂 土谷 新宮 沖本 光村 山本
- ・創業月会員（3名）
上原 田原 金光

会長時間

「推し活」

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席、誠にありがとうございます。

本日は、広島東南ロータリークラブの尾立道泰様、そして入会予定ゲストの上土井幸始様にご参加いただいております。どうぞ例会をお楽しみください。

まず、皆様にはお願いです。3月19日に発生した岩手県大船渡市の山火事について、2710地区からの要請により、会員お一人あたり1,000円の支援金拠出をお願い申し上げます。加えて、この度の山火事では甚大な被害が出ており、被災地の復興には長い時間と甚大な費用が必要となります。そこで、当クラブからも独自に30万円の支援金を寄贈することを、臨時理事会で承認いただきました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、今回は最近注目されている“推し活”についてご紹介いたします。“推し”とは、自分が応援したい人・モノ・コトのことで、“推し活”はその応援活動を指します。Z世代の74%が“推し”を持ち、40～60代でも約25%が何らかの“推し”を持っているという調査結果が出ています。

“推し活”は経済的にも大きな影響を与えており、市場規模は約6,700億円（2022年）に達しています。アニメ、アイドル、同人誌、フィギュアなど様々な分野に広がり、“推し”を中心に消費が波及する点が特徴です。例えば、コンサートに行く場合、チケット代の他に、グッズ、美容、交通、宿泊費など多くの関連支出が発生します。

企業も“推し活”を取り入れた戦略を展開しています。JR

東海の「推し旅」、オリックス・バファローズの「オリ姫デー」、エスビー食品の推しスパキャンペーン、タワーレコードの「推しの日」など、各業界で盛り上がりを見せています。広告やラッピングなども“推し活”と連動しています。

さらに、“推し活”は経済面だけでなく、精神的にも好影響をもたらします。メンタルヘルスの分野では、自己注目を軽減し、外への関心を高めることでうつ改善にもつながるとされ、実際に“推し活”をしている女性の92.2%が「人生が変わった」と回答しています。

“推し”は年齢を問わず、生きがいやモチベーションとなり、日々の生活に活力をもたらす存在です。今後、“推し活”はさらに人々の心を動かす力を持ち続け、社会や経済への影響も拡大していくことでしょう。

価値観が変わってくる世の中でロータリアンも柔軟な発想が必要になってくるのかもしれない。



第5回米山功労者マルチプル(小佐古会員)表彰

会員卓話の風景



卓話者:木内会員

